

今こそ知ろう！山のこと 8/11



「山の日」制定記念イベントを開催、記念ヘッドマークも登場▶

「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日」として、今年から国民の祝日に制定された「山の日」。この日を機会に多くの方に地域の山について理解を深め親しんでもらおうと、町内でイベントが開催されました。また、道の駅「奥大井音戯の郷」前では、「南アルプスユネスコエコパーク」や『日本で最も美しい村』連合の周知活動として、町内産の木を使ったストラップ作りやパネル展示なども行われました。

① 山の日記念ツアー ～地域の資源を知ろう～

町商工観光課は、町民を対象に、寸又左岸林道にある展望地「お立ち台」や接岨区にある資料館やまびこなどをバスで巡るツアーを開催しました。

参加者らは、通常時はゲートが閉鎖されている林道を通して「お立ち台」に到着すると、南アルプス連峰を目の前に見渡し、静岡森林管理署千頭森林事務所の武居邦広地域統括森林官から山々の形状や動植物の説明を受けました。また、資料館やまびこでは、山とともに生きてきたこの地域の歴史を学び、地域資源について理解を深めました。



- ▲武居氏の説明に熱心に聞き入る。
- ▶目の前に迫る山々に思いをはせる。



八木 洋子さん(上長尾区)



お立ち台を訪れたのは初めて。どこまでも続く深い山々に、とても感動しました！

② モクモク体験 ～山の恵みに親しむ夏の1日～

桑野山貯木場にて、間伐の実演見学やチェーンソーの操作、木工作品製作などを体験するプログラムが開催され、町内外から多くの家族連れが参加しました。

中でも、林業関係者の手ほどきを受けながらチェーンソーやのこぎりで丸太を切る体験では、参加者が見事に切り落とすたびに歓声が沸き起こりました。主催した木の駅かわね実行委員会の杉山嘉英委員長は「子どもたちが山の仕事に興味を持つきっかけとなれば」と期待を寄せました。



- ▲初めてのチェーンソー体験に緊張。
- ▶親子で道具箱作り。



芹澤 ゆめなさん(小長井区)



木工体験で貯金箱を作ったよ。のこぎりで丸太を切るのは大変だったけど、楽しかったよ。

動画
de
広報



お立ち台から南アルプスの山々を望む

相藤農園が「世界名茶大賞」に 6/29 • 6/30

第11回国際名茶品評会で、相藤農園の「代々継承 川根茶」が最高賞を獲得

世界茶連合会主催の「第11回国際名茶品評会」が中国・杭州市で開かれ、相藤農園(藤川区)が出品した「代々継承 川根茶」が、最高賞の「世界名茶大賞」に輝きました。

国際的な茶産業の発展と品質の向上を目的とするこの品評会には、中国や韓国、インド、スリランカなど世界各国から570点の出品がありました。日本国内からの出品では唯一の最高賞獲得に、園主の相藤直紀さんは「国際的な審査基準にて高評価をいただき、今後の茶づくりに向けて大きな自信となった」と笑顔を見せました。



良質な茶づくりに高評価(写真:今年の全国品評会出品茶製造)

8/13 「ただいま！」を迎える夏祭り

動画
de
広報



大道芸人「ももっち」[NAOKI]の妙技に歓声が上がりました

小雨の降る中、今年も「やっちゃん祭」を盛大に開催

「第10回やっちゃん祭」(同実行委員会主催)が高郷河川敷多目的広場で開催され、町内外から多くの来場者でにぎわいました。

会場には多くの露店が軒を連ね、バザーも開催されました。特設ステージでは小学生ダンスチームや大道芸人のパフォーマンス、手筒花火の豪快な火柱と赤石太鼓の勇壮な響きの共演などが、来場者を楽しませました。

実行委員長の前田孝一さん(高郷区)は「10回目を迎え、里帰りイベントとして定着してきたことを実感している」と話しました。

色とりどりの浴衣で華やかに 8/14

「千頭駅前ミニ盆踊り」和気あいあいとしたひととき

「千頭駅前ミニ盆踊り」(本川根青年団主催)が同駅前広場にて開催されました。

盆踊りの曲が始まると、里帰り中の家族連れや立ち寄った観光客などが踊りの輪に次々と加わり、会場にはにぎやかな声が響きました。また青年団員や地元住民が中心となって綿菓子や焼きそばなどの露店を出店し、花を添えました。同青年団の風間光一郎団長(寺馬区)は「青年団主催となってから2回目の開催で至らないところもありましたが、皆さんに楽しんでもらえたようでうれしい」と来場者に感謝しました。



威勢の良い太鼓に合わせて盆踊りを楽しみました